

RIKKIO GOLF



立教大学 体育会ゴルフ部 OB・OG会 会報 2022



表紙・目次

- OB・OG会長 退任挨拶 / 新OB・OG会長 挨拶 _ P.1
- 体育会ゴルフ部 部長 挨拶 _ P.2
- 2021年度 幹部挨拶 _ P.3
- 2022年度 新主将挨拶 _ P.4
- 対抗戦報告 _ P.5 - P.9
- 女子対抗戦戦績 _ P.10
- 男子対抗戦戦績 _ P.11
- 春季男女ブロック別ランキング _ P.12
- ゴルフ部活動報告 第V期活動奨励金活動報告 / 卒部式 _ P.13 - P.14
- 2021年度 収支決算報告 _ P.15
- 財産目録/貸借対照表 _ P.16
- 2022年度 収支予算 _ P.17
- 役員・学年幹事メンバーリスト / お知らせ _ P.18

OB・OG会長 退任挨拶



新涼の候OB・OG各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、このたびOB・OG会長を退任いたしました。

3期6年の永きにわたり会長を務めることができましたのも、ひとえに会員各位のご支援、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。振り返れば、2017年の創部60周年記念式典、2018年大学構内に現役支援のためのスイング分析・弾道計測室の設置プロジェクト、2019年秋男子Cブロック優勝祝賀会開催、そしてOB・OG会組織の充実と、あつという間の出来事のように感じております。

また、新型コロナウイルスにより各事業の中止、リモートによる幹事会開催など先行きが見えないこの2年ではありましたが先般行われた書面議決による総会にて新会長に鈴木正敏氏が選任され、新体制によるOB・OG会活動も順調に動き出しております。

なにとぞ私同様ご支援賜りますようお願い申し上げます。

立教大学体育会ゴルフ部



元OB・OG会長
瀧澤 光雄



新涼の候OB・OG会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はOB・OG会の運営にあたり多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて私こと、先般開催されました令和4年度書面議決による総会にて、瀧澤前会長の後任として会長に就任いたしました。OB・OG会の更なる発展と現役強化に向け一層努力いたす所存でございますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。この場をお借りして、重点的に取り組んで参りたい事を申し上げます。

まずは、OB・OG会の若返りを図り積極的に若い世代の参画を促し、新しいパワーを取り入れたいと考えております。二点目は現役強化です。スイング分析・弾道計測室の積極的な活用促進、ティーチングプロによる実践的な技術強化の推進などにより今まで以上にぎみ細かなサポートをする体制をとることで、現役強化を図りたいと考え

ております。現役強化の面でも若い世代のOB・OGの果たす役割は大きいと思っております。しかしながら、これらは皆様のご支援・ご協力なくしては達成が叶いません。今後ともより一層のご支援・ご協力の程、重ねてお願い申し上げます。次第です。

最後になりますが、OB・OG会員、ならびにご家族の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。



新OB・OG会長
鈴木 正敏

新OB・OG会長 挨拶



2020年度より体育会会長の立場でゴルフ部の部長代理として現役のサポートをさせていただいている沼澤です。

まずはこの場をお借りしてOB・OG会の皆様のゴルフ部に対する常日頃からのご支援とご指導に感謝申し上げます。上げたいと思います。本当にありがとうございます。

さて、昨年も、ご承知の通り新型コロナウイルスの感染拡大により合宿など十分な部活動を行うことができませんでした。そのような大変厳しい環境の中、関東学生ゴルフ連盟は十分な感染対策を行った上で春・秋と男女共に対抗戦を開催しました。男子は目標に掲げていたBブロック残留という目標を達成してくれました。女子についても大変厳しい環境の中、両シーズンとも2位という結果を残し男女共に大変健闘してくれました。部員の皆さんの頑張りに心から敬意を表したいと思います。

また、第VI期立教大学体育会活動奨励金については2期連続で採択を

されました。従来から展開しているアスリート選抜入試についてもより各部の戦力強化に資するべく運用強化を行っております。ゴルフ部においてもこれら

大学側の諸施策を最大限に活用して部活動の充実及び戦力強化を図って頂きたいと考えています。

ご承知の通り立教学院におけるゴルフというスポーツは小学校のスナッグゴルフに始まり中学校、高校、大学におけるそれぞれのゴルフ部を通じて一貫して続ける事が出来る数少ないスポーツです。小学校のスナッグゴルフの授業をゴルフ部OB・OG会によって開催出来たと聞いておりますので、一貫連携によるゴルフ部の活性化支援を表す大変良い事例だと思っています。

また現在、立教学院では一貫連携のワーキンググループが立ち上がり立教付属中高の部活動についての議論が進んでいます。将来的には大学の体育会全体で中高の部活動をサポートできればと考えています。ゴルフ部のスタッフにもご協力いただく場面が出てくると

思いますが、どうぞよろしく願います。

毎年、申し上げておりますが、ゴルフ部は現役、OB・OG会、大学が三位一体で理想的な関係が築かれていますと感じています。私も体育会会長及びゴルフ部部長代理としてOB・OG会の皆様としっかり連携して現役のサポートを行って参りますので、引き続きよろしく願います。



体育会ゴルフ部部長挨拶



体育会ゴルフ部 部長
沼澤 秀雄

幹部挨拶



令和3年度立教大学体育会ゴルフ部主将を務めさせていただきます宮下と申します。

昨年度も新型コロナウイルスの影響により活動が制限されてしまう状況下での活動となりました。

しかしながら、OB・OGの皆様にはご支援、ご声援を頂き心より感謝申し上げます。

本年度におきましては、技術面においても有力な部員も多数入部し、難しい情勢下であるうとも、さらに立教大学体育会ゴルフ部を盛り上げてくれることと期待が募ります。

先日行われました春季リーグ戦では惜しくも入れ替え戦にて敗北を喫し、Cブロックへの降格となってしまいました。Cブロックへの降格となつてしまいましたが、本年度主将である佐久間を筆頭に立教大学体育会ゴルフ部全体でリーグ戦を戦うことで、必ずや再度Bブロックの舞台へと舞い戻れることを確信しております。

最後になりましたが、OB・OGの

皆様、本年度も変わらぬご支援ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



令和3年度立教大学体育会ゴルフ部女子主将を務めさせていただきます齋藤杏佳と申します。

始めに日頃からご支援・ご声援を頂いておりますOB・OGの皆様へ、改めて感謝申し上げます。

昨年度は春季リーグ戦、秋季リーグ戦とも2位という結果となってしまいました。

Dブロック優勝という目標は達成出来ませんでした。この4年間の中で1番優勝に近づいた試合結果となり、今後に繋がる良いプレーが出来たと思えます。

コロナ禍により、今後も厳しい状況下での活動が余儀なくされますが、福岡女子主将を筆頭に女子部員が一丸となり、本年度こそDブロックで優勝してほしいと考えております。OB・OGの皆様、本年度も変わらぬご支援の程、宜しくお願い致します。



主将
宮下 敏弥



女子主将
齋藤 杏佳



新主将
佐久間 怜央
新主将
挨 撈

新女子主将
福岡 萌生



この度、令和4年度立教大学
体育会ゴルフ部主将を務めさ

せていただくことになりました佐久間
怜央です。昨年度、男子は目標に掲げ
ていたBブロック残留という目標を達成
することができました。目標達成に
至る過程におきまして、OB・OGの皆様
の多大なるご支援、さらには皆様の
ご協力によって作られました計測室の
活用による各部員の成長が大きな糧と
なりましたこと、部員を代表し心から
感謝申し上げます。

昨年度に先輩方が残して下さったこ
のBブロックという素晴らしい舞台に一
期でも長く残留し続けることを目標と
して、今年度も精進しておりました。
しかし、今春に行われましたBブロック
対抗戦では7位、そしてBCBブロック
入れ替え戦では神奈川大学に惜しくも
負けてしまい、Cブロック降格となって



この度、令和4年度女子主将
を務めさせていただくことにな

りました福岡萌生です。
昨年度は春季対抗戦・秋季対抗戦共
に2位という結果となり、Cブロック
昇格という目標を果たすことができ
ませんでした。また、一昨年に引き続き
コロナ禍の影響で一般合宿や長期タイ合
宿を例年通り行うこともできず、制限
がかかる中での活動でした。しかし、
計測室を活用して練習させて頂くこと
をはじめ、OB・OGの皆様方の様々
なご支援のもと、全部員が成長するこ
とができました。全体が集まったの練習
にはまだ感染の可能性が拭えず困難な
中ではありますが、最善の注意を払い
本年度からは初ラウンド合宿をはじめ
とし、様々な活動を徐々に再開してお
ります。今後も伝統を守りながら、活
動を再開することと共に計測室を工夫

しまいました。熱い応援、そしてご期待
をいただいたにも関わらず、このような
結果となってしまったことを、お詫び
申し上げます。この大変悔しい結果を
バネに、秋季対抗戦優勝、Bブロック
再昇格という目標を成し遂げ、OB・OG
の皆様にご喜ばしい結果をご報告できま
すように、部員一同精進してまいります。
また、本年度からは最善の注意を払
いながらではありますが初ラウンド合宿
をはじめ、様々な活動を徐々に再開し
ております。男女ともに目標に向けて、
部員同士お互いに高め合いながら、さ
らに強いチームとなれるよう、精進して
まいります。改めまして、日頃より多
大なるご支援、またご声援をいただき
ておりますOB・OGの皆様にご礼申し上
げます。また、今後ともご厚情を賜り
ますようお願い申し上げます。

して活用させていただきながら全部員で
高め合って精進して参ります。
春季対抗戦では昨年に引き続き2位
というCブロック昇格まであと一歩の悔
しい結果となりましたが、出場した選
手それぞれが自身に足りない部分を改
めて気付くことができ、今後に繋げら
れる良い経験となりました。本年は5名
の女子部員が初心者として入部致しま
した。秋季対抗戦では日頃からご支援
をしていただいているOB・OGの皆様
方にCブロックへ昇格する姿を見ていた
だけるよう女子部員一同練習に励んで参
りたいと思います。最後になりますが、
日頃より多大なるご支援、またご声援
をいただいておりますOB・OGの皆
様に御礼申し上げます。今後とも部員
一同精進してまいりますので、ご厚情を
賜りますようお願い申し上げます。

春季男子

Bブロック対抗戦

5月22日、23日

サザンヤードカントリークラブ



初日1位の中央大学に5打差の2位という最高の発進をし、

Aブロックも夢ではないと選手たちは意気込んで臨んだ最終日であったが、宮下（4年主将）と森山（1年）以外の6名が初日よりスコアを落とし、最終的には5位でBブロック残留となった。優勝も見えていただけに結果としては残念であったが、当初の目標であるBブロック残留というものは果たすことが出来たこと、さらにBブロックでも十分に戦えるという自信になったことは大きな収穫である。



春季女子

Dブロック対抗戦

11月15日

杉の郷カントリークラブ



初日は1位獨協大学に21打差をつけられ3位スタート。

優勝するにはかなり厳しい条件の中で最終日は頑張り、優勝した獨協大学と同スコアでプレーし2位となった。

しかしながら、Dブロック残留という結果に変わりはない。

優勝した獨協大学とその差は現場で見ていると歴然で、ショットやアプローチ等すべてにおいて実力の差は大きいと感じたのが実際のところである。

秋季女子

Dブロック対抗戦

8月19日、20日
サンコー72カントリークラブ



初日は下位ブロック（Eブロック）から昇格してきた東海大学に9打差をつけられ2位発進となった。2季連続の2位にはなりたくない、初日85と出遅れた福岡に替えて高野を起用し、逆転を信じ最終日に臨むことになった。

最終日は同組でまわる1位の東海大学を強く意識しながらプレーを行い、9打あった差も少しずつ詰めてはいったものの、最終的に東海大学に4ストローク詰め寄ったのが精一杯で、残念ながら5打届かず春と同様に2位となりDブロック残留となってしまった。



秋季男子

Bブロック対抗戦

9月8日～10日

茨城ロイヤルカントリークラブ

秋季Bブロック対抗戦は3日間のマッチプレートーナメントである。初戦に勝つと優勝争い、負けると翌日からは一気にCブロック降格争いとなる厳しい戦いである。試合形式は、午前ダブルス、午後シングルスで、ダブルスが4組合計4ポイント、シングルスが6組合計6ポイントの合計10ポイントで争われる。

初日：中央大学戦

思いつけば中央大学は前回春季対抗戦の初日に優勝した駒沢より5ストロークもよく首位スタートで、最終日に崩れBブロック残留となつてしまったものの、Aブロックから降格してきた明治大学と優勝を争う筆頭であることに間違いはなかった。

案の定、午前ダブルスは0対4と全組敗戦となり、午後シングルも森山（1年）が引き分け、最終組の宮下（4年主将）1UPで勝利するのがやっととなった。本校は次の日以降、5位～8位の降格争いゾーンで戦うこととなる。



2日目：東北学院大学戦

昨日の敗戦がうそのように、午前ダブルスは見事な全勝で4ポイントを獲得した。午後のシングルスでは1・5になると、レギュレーションにより逆転負けしてしまうことから、最低でも1勝1分け以上が必要であった。初戦の中央戦にも負けただけで、Bブロック残留のカギは2日目の東北学院戦の午後シングルス戦であると確信して、ここに本校の最強の6名を保持してくるのが戦前からの作戦であった。よってレギュラー選考会の上位6名をこの

東北学院戦の午後シングルス戦へ起用した。

いよいよ勝負のシングルスが始まる。ハーフターン時の結果は、内田祐豪1up、森山2down、剣1down、梅内1up、佐久間AS、宮下2upで、上々の出来だが、ここから茨城ロイヤルの魔の1時間が始まりまる。立教はインの10番から14番まで極端に不得意で、そこへくるとスコアをいつも落とし、マッチプレーではジリジリとダウンしていく。

剣は13番を終わって4ダウンという状況。1upしていた1組目祐豪が16番でバーディを取られASになり、同じく1upしていた梅内が11番から14番まで4連続で取られあつという間に3downでドリーホールを向かえる。剣が4&3で負けだと思えば、森山が3&1で負け、佐久間が4&3で負けと、わずか10分の間に3組が立て続けに敗戦という状況を目の当たりにした。残っている3組はといえば、内田祐豪がAS、梅内が2down、宮下がASという本校のリードが1組もないという絶対絶命状態で、この流れでいくと、シングルスは

全部取られ、今日の敗戦が間もなく決まるといふ状況であった。16番に来た梅内を確認すると2down。もう勝ち目はない、残るは内田祐豪と宮下という4年生の二人。この二人が最低でも1勝1分けしないと大逆転負けとなってしまう。祈る気持ちで私はASで17番に来た内田祐豪の組について。

17番は196ヤードのパー3である。相手はグリーンを外し、内田祐豪は見事に1オン、チャンスである。ここを取れるか、と思ったところ、相手の見事なアプローチによりパーで分け、ついに決着は最終ホールとなった。そう、ここ数年接戦が繰り返された茨城ロイヤルの最終パー5だ。2upからASまで追い上げ、18番は相手のティーショットからである。もう何年も前からこのホールで何度神に祈ったかわからない、右がOB、左が池のプレッシャーがかかる最終ホール。相手にも相当プレッシャーがかかっているのだから、ドライバーなのに、右手はシャフトにかかると、短い短く持っていた。そして放ったティーショットはなんと右のOB。そんな緊張がマックスの状態が続いて打った内田祐豪

の球はフェアウェイと真ん中。相手の打ち直しはナイスショット。内田祐豪の2打目はレイアップ。相手は2オン狙いでグリーンそばまで運ぶ。内田祐豪は10メートルに3オン。相手は寄せて残り3メートル。内田祐豪のバーディーパットは2メートルショット。相手が先に3メートルのOBバーディーパットを決め、なんとボギーでホールアウト。内田祐豪の2メートルのパーパットを入れればシングルス戦初の1ポイントを獲得する。外すと0・5ポイントとなりかなり厳しくなる。内田祐豪に後から聞いたが、何をしていたのか、どうやってどこに打ったのか全く覚えていない、ただカップに向かって球を打っただけという大事なパットだった。

入った！1upで辛くも勝利した瞬間だった。内田祐豪が18番で勝利したとき、最終組の宮下は2連続で取られ、ASで16番に来ていた。宮下が負けると立教の負け。ASならば立教の勝ち。まだまだギリギリの戦いは続く。

18番にいた私はカートで16番に戻ると二人はグリーン上にいた。宮下が1メートルのパーパットを入れて再び1up



に戻すところを見ることが出来た。

そして17番196ヤード、パー3。アゲンストの風があり、宮下に少し空気は重いからしっかり打て、と指示を出す。6番アイアンで打たれたショットはピンに向かっていく。打ったあとに宮下が珍しく声を出す「いつてくれ！」。ボールはピンの根元に落ち、少し足が出て奥目5メートルにナイスオン。続く相手はアゲンストに押され手前のバンカー。これを3メートルほどに寄せるが入れられずボギー。

宮下がパーでこのホールの勝ちとなり、あつという間の幕切れとなって2up(2&1)で宮下の勝ちとなったのである。

合計ポイント6対4で辛くも逃げ切り、立教の勝利である。どちらに転ぶかわからないギリギリの戦いをものにし、2日目終了時点で本校のBブロック残留が決定したのである。



最終日：東京国際大学戦

もう名前を聞いただけでも勝ち目がないと思っている部員もいたが、前夜には明日は絶対に勝ちにいく、と選手達には強く言って奮い立たした。

午前ダブルスのペアは出場順に、1組目 鈴木・横山の高校野球部ペア。2組目は 主将宮下と梅内の本校必勝ペア。3組目は 佐久間と高林の新しいペアを作って出場させることにした。

佐久間は内田祐豪、横山とダブルスは組んでいたが、この二人は最後のシングルスで起用すると決めていたので休ませることとし、さらに来年も考え初出場となる高林を起用することになった。

最終組は内田雅輝と柳川の4年生ペアだ。レギュラー枠ぎりぎりに滑り込みで入った二人である。柳川も高校時代は野球部だったが、練習を重ねこの最後の対抗戦でレギュラーに入り、初出場がなんと東京国際戦という代抜擢出場である。

東京国際のように高校時代にゴルフ部で活躍したゴルフの所謂エリートと違い、ダブルス出場8名中、4名が高校では野球

部、1名がサッカー部出身で、ゴルフ部出身者は3名しかないというのが本校である。

そんな中、午前ダブルスはなんと3勝1分け、あの最終組のぎりぎりペアの内田雅輝・柳川組も勝利し、午前のポイントは3・5対0・5という結果になった。

そして続いて行われるシングルスでは、まだここまでシングルスで一勝も出来ていない、また疲れも見える梅内を使わないことを決断。6名は、横山、劔、佐久間、内田祐豪、堀川、宮下の順で出場させることにした。

シングルスのバックナインは、最後の勇姿を見ておこうと、私は4年生3名のところはずっとついていたが、特に内田祐豪に関しては、対戦相手が300ヤード以上飛んでいて、飛距離が出る方ではない内田祐豪のことをひどいときには100ヤード以上差をつけることもあったが、彼は持ち前の正確なショットで先にグリーンを確実にとらえ、相手にプレッシャーをかけ続け、3&2で勝利したのが圧巻であった。

さて、シングルスの結果だが、内田祐豪に

続き佐久間も勝利、堀川と劔が引き分け3対3となり、トータル6・5対3・5で昨日に続いて東京国際大学戦にも勝利した。厳しいBブロックでの戦いは、5位Bブロック残留という結果で終了した。



監督 青木 克益(昭和63年卒)

戦績 対抗戦 女子

2021年度 関東大学女子春季Dブロック対抗戦

2021年5月28日(金)～29日(土) セブンハンドレッドクラブ 5,775yards Par72

1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー。5人エントリー、4人出場、上位3名のトータルスコアにより順位を決定。

参加校：駿河台大学、東洋英和女学院大学、大妻女子大学、立教大学、帝京大学、明治学院大学、獨協大学、玉川大学

天候 1日目：晴れ 2日目：晴れ

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
優勝	獨協大学	228	237	465
2位	立教大学	249	237	486
3位	帝京大学	245	245	490
4位	東洋英和女学院大学	249	249	498
5位	大妻女子大学	253	259	512
6位	玉川大学	260	256	516
7位	明治学院大学	259	259	518
欠場	駿河台大学			

個人成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
齋藤 杏佳(4年)	40	37	77	40	36	76
高野 寧々(4年)	41	45	86	42	41	83
福岡 萌生(3年)	45	44	※ 89	44	50	※ 94
森山 紗弥加(3年)						
郷田 杏奈(2年)	41	45	86	41	37	78

以上の結果、獨協大学のCブロック昇格と、明治学院大学と駿河台大学のEブロック降格が決定。

最優秀選手：中條 志歩選手(獨協大学②)146ストローク

2021年度 関東大学女子秋季Dブロック対抗戦

2021年8月19日(木)～20日(金) サンコー72カントリークラブ 西コース 5772yards Par72

1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー。5人エントリー、4人出場、上位3人のトータルスコアで順位を決定。

参加校：富士大学、立教大学、帝京大学、東洋英和女学院大学、大妻女子大学、玉川大学、東海大学、東北学院大学

天候 1日目：曇り 2日目：晴れ

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
1位	東海大学	225	235	460
2位	立教大学	234	231	465
3位	大妻女子大学	236	235	471
4位	玉川大学	246	233	479
5位	東洋英和女学院大学	248	236	484
6位	帝京大学	244	258	502
欠場	富士大学			
欠場	東北学院大学			

個人成績 名前(学年)	1日目			2日目		
	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
岩田 恵利奈(4年)	39	41	80	41	41	※ 82
齋藤 杏佳(4年)	38	35	73	37	37	74
高野 寧々(4年)				40	41	81
福岡 萌生(3年)	46	39	※ 85			
郷田 杏奈(2年)	40	41	81	38	38	76

以上の結果、東海大学のCブロック昇格と、富士大学、東北学院大学のEブロック降格が決定。

最優秀選手：長倉 加奈選手(大妻女子大学①)145ストローク

男子 対抗戦 戦績

2021年度 関東大学春季Bブロック対抗戦

2021年5月22日(土)～23日(日) サザンヤードカントリークラブ 6,995yards Par72

1日18ホール、2日間計36ホール・ストロークプレー。10人エントリー、8人出場、上位7名のトータルスコアにより順位を決定。

参加校：山梨学院大学、駒澤大学、法政大学、東京国際大学、中央大学、慶應義塾大学、立教大学、東海大学

天候 1日目：雨 2日目：晴れ

順位	大学名	1日目	2日目	TOTAL
優勝	駒澤大学	534	524	1058
2位	山梨学院大学	538	528	1066
3位	東京国際大学	539	529	1068
4位	中央大学	529	540	1069
5位	立教大学	534	552	1086
6位	慶應義塾大学	550	537	1087
7位	法政大学	548	547	1095
8位	東海大学	566	561	1127

個人成績	1日目			2日目		
	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
内田 雅輝(4年)						
内田 祐豪(4年)	37	38	75	40	39	79
堀川 秀隆(4年)	39	40	79	39	40	79
宮下 敏弥(4年)	42	40	※ 82	37	43	80
柳川 大樹(4年)						
佐久間 怜央(3年)	40	36	76	39	39	78
鈴木 勝奈織(3年)	38	37	75	47	42	※ 89
横山 幸汰(3年)	41	36	77	37	47	84
梅内 秀太郎(2年)	36	35	71	38	35	73
森山 正斗(1年)	41	40	81	38	41	79

以上の結果、駒澤大学のAブロック昇格

第58回全国大学ゴルフ対抗戦の出場権を取得。

法政大学、東海大学のCブロック降格が決定。

最優秀選手：村尾 優一選手(慶應義塾大学②)143ストローク

2021年度関東大学秋季Bブロックマッチプレートトーナメント

2021年9月8日(水)～10日(金) 茨城ロイヤルカントリー倶楽部 OUT・IN 7,079y par72

午前ダブルス、午後シングルスによる1日2Rのマッチプレー

参加校：明治大学、山梨学院大学、東京国際大学、中央大学、立教大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東北学院大学

天候 1日目：曇りのち雨 2日目：雨のち曇り 3日目：晴れ

● 1日目

中央大学				8.5	W	4-0	W	1.5	立教大学				
					S	4.5-1.5	S						
ダブルス(4-0)												シングルス(4.5-1.5)	
1	吉田 大雅④	○	3 & 1	1	鈴木 勝奈織③	○	5 & 4	1	奥田 智也②	○	佐久間 怜央③		
	奥田 智也②				横山 幸汰③		AS	2	櫻井 貴①		森山 正斗①		
2	織井 昭汰③	○	3 & 2	2	堀 瑞偉②	○	2UP	3	吉田 大雅④	○	梅内 秀太郎②		
	後閑 拓真③				森山 正斗①		4 & 3	4	西片 太一③	○	堀川 秀隆④		
3	工藤 大河②	○	4 & 3	3	内田 祐豪④	○	4 & 3	5	中村 竜③	○	横山 幸汰③		
	関 敏斗①				佐久間 怜央③		1UP	6	後閑 拓真③		宮下 敏弥④		
4	西片 太一③	○	2UP	4	宮下 敏弥④								
	中村 竜③				梅内 秀太郎②								

● 2日目

東北学院大学				4	W	0-4	W	6	立教大学				
					S	4-2	S						
ダブルス(0-4)												シングルス(4-2)	
1	猪俣 裕平②		2 & 1	○	1	内田 祐豪④	○	1UP	○	1	内田 祐豪④		
	真壁 英路③				2	堀川 秀隆④		3 & 1	○	2	森山 正斗①		
2	長谷川 寛大①		3 & 2	○	2	佐久間 怜央③		4 & 3	○	3	堀 瑞偉②		
	佐藤 亮太郎③				3	横山 幸汰③		3 & 2	○	4	梅内 秀太郎②		
3	高瀬 大輝①		3 & 2	○	3	宮下 敏弥④		4 & 3	○	5	佐久間 怜央③		
	和知 快斗②				4	梅内 秀太郎②		2 & 1	○	6	宮下 敏弥④		
4			不戦勝		4	堀 瑞偉②							
						森山 正斗①							

● 最終日

立教大学				6.5	W	3.5-0.5	W	3.5	東京国際大学				
					S	3-3	S						
ダブルス(3.5-0.5)												シングルス(3-3)	
1	鈴木 勝奈織③	○	4 & 2	1	岡部 祐太③	○	4 & 3	○	1	千羽 祐介③			
	横山 幸汰③				山田 健悟①		AS		2	若宮 翔梧③			
2	宮下 敏弥④		AS	2	津田 豊③		1UP	○	3	山田 健悟①			
	梅内 秀太郎②				千羽 祐介③		3 & 2	○	4	津田 豊③			
3	佐久間 怜央③	○	1UP	3	弘内 秀③		AS		5	弘内 秀③			
	高林 龍人④				奥田 文太②		4 & 2		6	岡部 祐太③			
4	柳川 大樹④	○	2 & 1	4	若宮 翔梧③								
	内田 雅輝④				大森 夏夜②								

以上の結果、明治大学が「2021年度関東大学秋季ABブロック入替戦」

山梨学院大学が「2021年度関東大学秋季BCブロック入替戦」の出場権を獲得。

東北学院大学のCブロック降格が決定しました。

最優秀選手は優勝校の明治大学で一番ポイントの高い選手(中村 勇貴選手②)獲得ポイント5.5ポイント。

春季男女ブロック別ランキング

(春季対抗戦参加対象校)

男子

A ブロック	
1位	東北福祉大学
2位	日本大学
3位	中央学院大学
4位	日本体育大学
5位	専修大学
6位	明治大学

B ブロック	
1位	駒澤大学
2位	慶應義塾大学
3位	中央大学
4位	早稲田大学
5位	立教大学
6位	東京国際大学
7位	山梨学院大学
8位	法政大学

C ブロック	
1位	東北学院大学
2位	東海大学
3位	東京大学
4位	神奈川大学
5位	富士大学
6位	帝京大学
7位	青山学院大学
8位	上智大学

D ブロック	
1位	明治学院大学
2位	拓殖大学
3位	学習院大学
4位	城西大学
5位	一橋大学
6位	国士館大学
7位	成蹊大学
8位	横浜国立大学

E ブロック	
1位	成城大学
2位	東洋大学
3位	東京農業大学
4位	國學院大学
5位	玉川大学
6位	獨協大学
7位	大東文化大学
8位	明星大学

F ブロック	
1位	芝浦工業大学
2位	東北大学
3位	千葉大学
4位	駿河台大学
5位	亜細亜大学
6位	東京経済大学
7位	首都大学東京
8位	横浜商科大学

女子

A ブロック	
1位	東北福祉大学
2位	日本大学
3位	明治大学
4位	東京国際大学
5位	日本体育大学
6位	駒澤大学

B ブロック	
1位	専修大学
2位	早稲田大学
3位	法政大学
4位	中央学院大学
5位	常盤大学
6位	山梨学院大学

C ブロック	
1位	青山学院大学
2位	上智大学
3位	学習院大学
4位	獨協大学
5位	聖心女子大学
6位	東海大学

D ブロック	
1位	慶應義塾大学
2位	立教大学
3位	大妻女子大学
4位	玉川大学
5位	東洋英和女学院
6位	帝京大学
7位	日本女子大学
8位	成蹊大学

E ブロック	
1位	富士大学
2位	東北学院大学
3位	明治学院大学
4位	成城大学
5位	東京大学
6位	中央大学
7位	一橋大学

第V期立教大学体育会活動 奨励金活性化プロジェクト 活動報告

12月7日～8日 ましこゴルフ倶楽部
参加プロ ティーチング…兼濱開人プロ
トーナメント男子プロ…東家賢政プロ
トーナメント女子プロ…山口すす夏プロ

3月3日 ましこゴルフ倶楽部
参加プロ ティーチング…森守洋プロ
…兼濱開人プロ
トーナメント男子プロ…片岡尚之プロ
…笹村心プロ
トーナメント女子プロ…山口すす夏プロ



プロジェクト最終年（3年目）
となった今回は新型コロナウィ
ルス感染症の影響で合宿の開催もま
まらない中、プロジェクトの内容を一部
変更しながらもなんとか2回の開催を
実現した。

昨年ツアー初優勝を飾った片岡尚之
プロ、また昨年までUSLPGAツアー
に参戦していた山口すす夏プロとのラウ
ンドは年齢も近い学生達には大きな刺
激と収穫があった。

またツアープロとのラウンド中にレッ
スンプロも同行するという新しい試み
は、ツアーの練習日を見ているような
光景で、学生達は最高の環境で最高の
経験を積めたのではないだろうか。

また3年間トーナメントプロの弾道
計測をゴルフ場でとることが出来、
多くのデータを蓄積出来た事は今後の
ゴルフ部にとって大きな収穫であった。

※第VI期体育会活動奨励金活性化
プロジェクトにおいて、これまでの活動・
戦績が大学側から評価された事もあり、
ゴルフ部は2期連続で採択された。
来期からの3年間もこの奨励金を
最大限有効活用し、更なる選手の技術
向上に努めたい。





男子9名 女子6名
合計15名が卒部致しました。

令和3年3月11日
ホテルメトロポリタン東京池袋

卒部式



役員・学年幹事

役員

会長
副会長 兼 監督
副会長
副幹事長
会計幹事
副会計幹事
副会計監査
会計監査
相談役
相談役
常任幹事

鈴木正敏 (昭和52年卒)
青木克益 (昭和63年卒)
森山奈美江 (平成01年卒)
川俣雅昭 (平成09年卒)
小坂徳一郎 (平成15年卒)
石渡一郎 (平成10年卒)
丸山大輔 (平成15年卒)
小澤省一 (昭和53年卒)
飯田洋一 (昭和54年卒)
瀧澤光雄也 (昭和49年卒)
宮下治博 (昭和50年卒)
北口博織 (昭和58年卒)
小石江介 (平成03年卒)
遠藤大友 (平成12年卒)
鈴木龍斗 (平成14年卒)
釣部雅義 (平成18年卒)
松本慎平 (平成20年卒) (新任)
佐藤弥礼 (平成21年卒)
小川恵理 (平成22年卒)
小松永昌 (平成25年卒)
三崎勝弘 (平成25年卒) (新任)
青木翼晋 (平成27年卒) (新任)
高橋伸輔 (平成28年卒) (新任)
高橋晋輔 (平成29年卒) (新任)

学年幹事

藤田明弘 (昭和53年卒)
柳下貞之 (昭和54年卒)
海老原寿人 (昭和55年卒)
村松高光 (昭和56年卒)
狩野達男 (昭和57年卒)
布施慈宣 (昭和59年卒)
入江誠一 (昭和59年卒)
岡田光史 (平成02年卒)
大西しずか (平成02年卒)
細谷昭香 (平成04年卒)
前田友香 (平成05年卒)
角田岳樹 (平成05年卒)
上保裕樹 (平成06年卒)
田中山隆之也 (平成06年卒)
横山亜紀 (平成07年卒)
菱山亜紀 (平成08年卒)
蕪木豊樹志 (平成09年卒)
宮越保志 (平成10年卒)
吉田琢 (平成11年卒)
吉井庸之 (平成13年卒)
関根範文 (平成14年卒)
長田昌也 (平成16年卒)
岡田千登勢 (平成17年卒)
石川悠太 (平成19年卒)
別府弘章 (平成21年卒)
平山尚樹 (平成23年卒)
友田敦 (平成24年卒)
五十嵐恵里佳 (平成26年卒)
木山征彦 (平成28年卒)
松下侃司 (平成30年卒)
榎島藍 (平成30年卒)
小島翔太 (平成31年卒)
栗山尚 (令和02年卒)
青木公翼 (令和03年卒)

お知らせ

- 男女合同夏季一般合宿 中止 ●男女合同春季一般合宿 中止 ●第19回立教対抗戦 中止 ●長期タイ合宿 中止
- 立教大学体育会OB・OGクラブゴルフ大会 中止 ●第42回関東八大学ゴルフ対抗戦 中止
- 立教小学校におけるスナッグゴルフ(活動中止) ▶ ゴルフ部ではOB・OGのボランティアと現役部員によって、立教小学校における体育授業の中でスナッグゴルフというツールを使用してゴルフを教えています。本年度は小学校での授業を行えず、また代表チームを作った大会への派遣も行いませんでした。

●住所訂正について

先日、お送りしました名簿に誤りがございましたので以下の通り訂正とさせていただきます。
昭和52年 鈴木正敏 港区白金2-2-5 ラ・マーレ白金207号(誤) ▶ 港区白金2-5-5 ラ・マーレ白金207号(正)

●令和4年度立教大学体育会ゴルフ部OB・OG会ゴルフ大会開催のお知らせ

例年11月に開催をしておりましたOB・OG会ゴルフ大会ですが、今年度についてはコロナ感染症対策をしっかりと行ったうえで3年ぶりに開催を予定致します。是非皆さまのご参加をお待ちしております。

- 1.日程及び会場 ▶【開催日】令和4年11月12日(土)【会場】千葉カントリークラブ 川間コース 12組予定
- 2.参加申込み・問い合わせ先 ▶立教大学体育会ゴルフ部OBOG会 事務局 丸山 大輔(平成15年卒)
▪メール:Daisuke_maruyama@tte-net.com ▪携帯:090-1618-8425 ▪FAX:03-5216-7391

●「立教サポート募金」における体育会ゴルフ部指定寄付にご協力をいただいた方(敬称略)

氏名	卒年
阿部 武	昭和45年
宮坂 衛	昭和46年
相澤 正	昭和49年
鈴木 正敏	昭和52年
岡田 光史	平成2年
岡田 陽太	平成30年

指定寄付制度は体育会各部の活動援助に使用させていただき制度となっております。ゴルフ部においても「ゴルフ部指定寄付金」として多くの皆様から援助をいただいております。

今回のご協力者一覧は2020年4月1日から2022年6月30日受付分までを掲載させていただきます。

誠にありがとうございました。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



立教大学体育会ゴルフ部